

令和元年度 英語学習実施状況について

金沢市立森本小学校

①小学6年生 英語学習意識調査（令和元年度12月実施）

(%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	28.1	32.3	24.0	15.6	0.0
問2	英語の勉強は大切だ。	71.9	21.9	6.3	0.0	0.0
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に役立っている。	32.3	59.4	7.3	1.0	0.0
問4	英語の授業がわかる。	30.2	44.8	19.8	5.2	0.0
問5	英語で先生や友達に質問することができる。	30.2	44.8	22.9	2.1	0.0
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	28.1	47.9	20.8	3.1	0.0
問7	アルファベットの大文字が書ける。	78.1	14.6	5.2	2.1	0.0
問8	アルファベットの小文字が書ける。	72.9	17.7	8.3	1.0	0.0
問9	副読本「Sounds Good Jump」の文を見て、書き写すことができる。	60.4	27.1	9.4	3.1	0.0
問10	副読本の本文を声に出して読むことができる。	29.2	25.0	30.2	15.6	0.0

②来年度に向けての指導改善の具体策（令和元年度2月実施「英語教育に関する報告書」より）

- ・コミュニケーションを行う目的を明確にすることはできてきた。場面や状況を明らかにすることに課題があるため、次年度は目的・場面、状況の三点をより意識して単元計画を立てる。
- ・相手意識をもって話したり聞いたりすることには各学級、学年で差がある。どの学級でも会話のマナーを児童に浸透していくようなET、HRTの工夫を提案する。
- ・学んだ表現の活用場面の広げ方をETと考え、各学級で取り組めるようにする。

③学校関係者評価

・英語教育に対する先生方の取り組みは、素晴らしいと思う。今後も継続して、英語教育の充実を図ってほしい。

・児童の意識調査の結果から、英語の勉強を大切だと思っている児童が大半を占めていることが分かった。子どもたちの意識としても、今後英語を必要とする場面が増えていくと感じている様子だ。

・子どもたちが将来英語を活用していくために、タブレットの活用を充実させてほしい。普段一緒に過ごしている友達同士だと、英語でコミュニケーションをとるのは恥ずかしい気持ちだったり、いい加減な気持ちだったり混ざってしまうと思われる。しかし、タブレットを活用することで、ほどよい緊張感をもって練習をすることができるのではないかと考えられる。先生方がタブレットを駆使して、英語の授業に取り入れてほしい。